

平成 30 年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会

報告書



日時 平成 30 年 10 月 16 日（火） 午後 6 時 30 分～8 時 25 分

場所 南コミュニティセンター

参加者数 51 人

市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	若杉 勝博
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	吉田 育夫
	教育部長	亀淵 雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
	企画振興課長	西野 成紀
	財政課主幹	高田 敦子

【市長 開会のあいさつ】

本日は、地域懇談会ということで9月定例会終了後から早速始めさせていただきましたが、南コミセンで7カ所目になります。秋も深まってきた中、雨が降り足元が悪く、そしてお疲れの中、夜分にもかかわらず大勢の方に参集をいただきましたことを心から感謝を申し上げます。市長に就任してから5カ月が過ぎましたが、この間、いろんな機会をとおして、まちづくりに向けたご意見を伺っているところです。先日の胆振東部地震では、停電ということで長時間にわたって市民のみなさまにも多大な不安を与えたと思っています。そうした災害も起こってから気づかされる課題も見えてきました。

今日は、就任当初から富良野市として解決をしていかなければならない大きな課題を2点「JRの問題」「市庁舎の新築」の関係について、今までの経過と市の方向性について、説明をさせていただきたいと思っています。また、みなさんから様々な角度からご意見をいただき、市民にとって満足度の高い庁舎に、あるいはJRの対策につなげていきたいと思っています。

地域の課題についても提案をいただきたいと思います。みなさんの意見ひとつひとつが、まちづくりに反映される、そしてそのことでより良い、住み良いまちにしていく、そんなことがまちづくりの基本になると考えています。限られた時間ですが、有意義に過ごさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

1. 鉄路のあり方について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○鉄道は3路線あるが、各路線で市民1人あたり年間何回くらい使っているのか。市の職員が出張のとき、車を使うことが多いように見えるが、バスやJRはどのくらい使っているのか。</p>	<p>○市民1人あたりの使用回数は把握していませんが、JR北海道が年間の営業損失は約180億円あるといわれています。これを道民540万人で割ると道民1人あたり3,333円です。富良野-札幌間の往復割引切符は4,350円なので、富良野市民が札幌に車やバスで行っている場合は、年に1回はJRを利用させていただきたいとお願いしています。市職員が出張でJRを利用することについては、基本的には札幌への出張はJRを利用することになっています。昨年の9月の補正予算からJRを利用する際の出張旅費の予算を追加しています。根室本線対策協議会では、滝川から新得までの市町村が持ち回りで毎月話し合いを開催していますが、その際にはJRを利用し、利用状況を把握しながら出席するようにしています。</p> <p>○市職員の出張も急いで帰ってこなければならぬこともありますので、その際は公用車を利用することもあります。基本的にはある程度の時間をとってJRでいくようにしています。</p>

- JRを利用する立場からみると大変不便。朝9時からの会議だとJRを利用できるが、10時の会議だと時間があわないのでバスを利用する。JRはダイヤを改正するたびに不便になって利用しなくなる。JRを利用すると夜11時過ぎに帰ってくることになる。そうすると利用したくてもできない。滝川で何時間も待たされることもある。
- 普段は車を使っているのにJRを守れというのは僭越だと思う。通学と年寄りのことを考えると守ってもらわないと困る。特に富良野-新得間は誰も乗ってないのが道路からでもみえる。バスの方が止まる場所が多くて便利。JRは北海道も守るといっているが、実際には無理なことを無理して話をしているように感じる。
- 40年前に神奈川県から来たが、1両編成の列車が多くて驚いた。北海道は人口が減ってくる。鉄道が発達した当時は公共交通が少なかったが、今は車社会になっている。大きな社会の流れは変えることはできないのでは。根本的な原因を直していかなければ何もできないのでは。
- 不便な話は、他の地域でもでています。乗らないから便数が減る。便数が減るから乗る人も減る。という状況になっています。利用のしやすい時間帯について、JRに要求していきたいと思います。
- 学生の通学時は結構混んでいます。昼間はインバウンドの観光客が乗っているときもかなり混んでいます。それ以外はほとんど乗っていない状況です。便利な時間帯に便数を増やすことも必要だと思っています。
- 人の流れは人口減少社会ですし、車の利用も大変多くなっています。バスの利便性なども総合的に考えると合理的ではないかという判断もでてくるかもしれません。しかし、市の経済の成り立ちは主に農業と観光です。農業は貨物が走っているということで、秋の収穫時期には大量の農作物が本州に輸送されます。この輸送については既にトラックも動いています。JRをトラックに転換すると運転手とトラックの準備が非常に難しい状況です。そうすると農産物が消費者に届かないことになるので、その分、生産が抑制されることにつながります。そして市の経済にも大きく影響することが考えられます。また、観光についてはインバウンドと呼ばれる海外の観光客が大変多くなってきています。外国人観光客はJRの利用が多くなっています。JR北海道の経営改善でもありますが、利用にあたっては利便性を改善する必要もあります。観光客が富良野、十勝、根室と周遊観光の可能性をみると大きな可能性を含んでいると考えられます。人の輸送に加えて、農産物の輸送、観光客の利便性も考えて市としては負担をしてでもJRをなんとか残していきたいと考えています。

2. 新庁舎建設について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○庁舎の設計はできているのか。何階建てになるのかも決まっていなく面積も決まっていないのか。短期間で平成32年度までに取りまとめなければ前へ進めない。未来の子どもたちに残す財産として、急いでやるべきではないか。</p> <p>○返済の問題は、30年後に人口がどのくらいか、毎年1億返すとしても人口が2万人のときと1万人のときでは違ってくる。そのような試算はどの程度しているのか。</p> <p>○市の審議会は、ほとんど意見がでないで事務局案がおおることが多いが、検討委員会はどのくらい活発な意見がでてしているのか。例えば、委員の3分の2から半数の人が発言しているのか。</p> <p>○新庁舎は金山ダムが決壊した場合を想定し、屋上にヘリポートを作るとか自家発電機、燃料の備蓄をしてブラックアウトした場合でも1週間くらい持つような設備をつくってほしい。</p>	<p>○設計や階数はこれからです。今日は市の考え方を説明させていただきましたが、平成32年度までには建てたいと考えています。みなさんのご意見を聞きながらすすめていきたいと考えています。</p> <p>○今までは、ひとつひとつ意見交換をしながらやってきましたが、市民や関係団体、議員も含めて一体型で検討しています。市職員のワーキンググループも別に設置して意見を出し合っています。基本構想が出た段階で決まっているのかということですが、そうではありません。ユニバーサルデザインや防災機能などが必要だという主要部分だけは決まっていますので、検討委員会のなかで専門家も入って話し合いをしています。</p> <p>○年間2億3千万円を返済しますが、国から約6千万円戻ってきますので、差し引いた返済額は年間1億7千万円となります。人口減少を見据えています。市の借金返済額は毎年10億円程度ですが、今後減っていきます。それに合わせて市庁舎建設の返済を合わせていきます。建設の費用はまだ明確ではありません。はっきりとした段階で、改めて説明しますが、試算のなかでは健全財政は維持できると判断しています。</p> <p>○まだ会議は1回ですが、ほとんどの委員から意見をいただき、活発な意見交換をしています。市のホームページでも公開しています。職員のワーキングチームでは、事務局案よりも職員の意見を重視しています。市民ワークショップでも市民のみなさんから多くの意見をいただいています。基本構想はたたき台ということで、みなさんから意見を聞いているところです。</p> <p>○庁舎の基本構想の中では、防災機能を発揮できる災害に強い庁舎をつくるということを基本方針にしています。100年に1度の大雨では、市街地でも洪水になる可能性があります。現庁舎は、地下に電気設備があり、ガソリンの備蓄もわずかなので長時間持ちません。防</p>

<p>○30年間で毎年1億7千万円を返済し、国の交付税が戻ってくるというがそれも国民の借金。国も債務超過になっているような状態のなかで30年間期待できるのか。金利は何パーセントで計算しているのか。30年間ゼロ金利の状態が続くと想定しているのか。</p> <p>○防災機能を発揮できる災害に強い庁舎とあるが、防災機能とは具体的にどのようなことか。富良野市は地震よりも水害の方が危険性が高い。過去にも事例がある。国道から堤防側は水につかる可能性がある。深層断層が金山ダムにないともいいきれない。胆振東部地震の震源の深さは37km。他の場所の検討はされたのか。</p> <p>○市の方針としては集約化を図ろうとしているが、高齢化社会のなかでみんなが弥生町に行かなければならないのか。東山や麓郷に人達はどのようにするのか。集約化して一カ所に集めるよりも分散化してサテライト庁舎をつくったほうが利便性を高くできないか。これからの富良野市の年齢構成を考えると高齢者が増えていく。庁舎を分散化して情報ネットワークシステムを整備したほうが住民としては楽ではないか。麓郷や西達布からはバスが少なく不便。本庁に集約化すると、むしろ利便性が下がるのではないか。</p>	<p>防災拠点機能を発揮できる庁舎にしたいという想いを込めています。ご意見を参考に検討を深めていきたいと思っております。</p> <p>○金利は1%です。</p> <p>○防災機能とは、災害対策の拠点とした機能、発電機の設置、遠くにある備蓄を収める、市民の一時的な避難場所などを包括的に考えています。</p> <p>○耐震の検討もしています。洪水に対する備えでは、100年に1度の大雨により約50cmの浸水が考えられますので、現状よりも少し高く上げるようにしたいと思っています。基本構想では、現在と同じくらいの市有地はほかにはありません。市街地の中心部に近いということや、今までの歴史も含めて現在地が最適だと判断しています。洪水のための対策は検討している。</p> <p>○山部と東山には支所があります。今後の高齢社会を考えると、コンビニなどの情報ネットワークの活用のなかで住民票をとれないかは検討しています。今現在、市役所に来る人が、福祉の関係では保健センターに行く、学校に関係では図書館に行くなど、同じ屋根の下で納まっていないのが現状です。それをできるだけ同じ屋根の下にしたい考えです。</p>
---	---

3. 市民参加手続きと審議会について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○いくつかの審議会で委員をしているが、年に1回しか開かない審議会が全体の8割ある。ほとんどが募集して辞令交付して1年が終わることが多い。農業委員会や教育委員会は義務的にやっている。市長に答申するときには</p>	<p>○現在の地域福祉計画は平成28年度に策定し、年間6回の会議を開催して策定したものです。その後、委員のみなさんから計画の進捗管理を検証する必要があるとの意見をいただき、昨年より検証を行うことになっています</p>

<p>付帯意見をだすが、市長が変わった場合は有効か。地域福祉計画の策定委員をしているが、現在の計画を答申する際に、平成 32 年度に計画の見直しを行うため、過去の実績を検証することを市長への付帯意見として提出した。昨年の夏に公募委員に応募し、1月に辞令を受けたが、その後に会議が1度もない。任期は来年の1月に切れる。見直す機会が1回もない。</p> <p>○審議会を来月開催すると言いつけているが、なかなかやらない。そういうことを取りまとめる部署はどこか。そういうことを整理する部署を設けてほしい。審議会の8割が1回の辞令交付で終わる。会議の中身がないまま任期切れになるような審議会は必要ない。市の監査事務局のように市民参加手続きについて監督する仕組みをつくってほしい。</p>	<p>が、委員の募集が遅れたことや会議の開催や会議録の公表が遅くなっている状況です。今年も少し遅れていますが、検証をするための会議を最低でも1回、議論の経過によっては複数回の会議を開催していきたいと考えています。</p> <p>○審議会もいろいろなものがあります。市民参加ルール条例については年に1回開催し、過去の実績を検証して見直しを行っています。辞令交付をして、その後に審議案件があるのに会議が行われれないということはあり得ないと思います。そうした問題がある場合は、直接担当部署に申し出てください。担当部署の係長、課長、部長と対応をしていきます。</p>
---	---

4. 職員の資質について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○市職員の教育をしっかりしてもらいたい。用事があって市役所に行くことがあるが、顔見知りの人以外の若い職員はほとんど挨拶もしないし、会釈もしない。商工観光課が移ったが、だれも挨拶しない。市民が行っても親しみを感じない。親切な職員もたくさんいる。中堅クラス以下の若い職員はマナーを忘れている。</p> <p>○職員教育で礼儀がなっていないのは親の責任。小学生の面倒をみているが、やっと1年生や2年生が挨拶できるようになった。それができないのは親に問題がある。日常生活の中で親が子どもに声かけしない。今やれといってもできない。市職員の問題ではない。</p> <p>○雑誌で毎年公務員の年収ランキングを公表しているが、平成 28 年度の全国 2,016 市町村のうち、富良野市は今年になって全国でトップ 500 位以内に入った。道内でも上位に入っている。職員の待遇がいいのは良いことだと思うが、住民サービスは全国で何位なのか、道内では何位くらいかを考えているか。</p>	<p>○職員の資質は常日頃から気を付けていますが、改めてお詫びします。市民目線の職員育成が市長の意向でもあり、研修等含め職員の資質向上に努めてまいります。</p> <p>○市役所の職員ですので、市職員の問題です。現市長が登庁して以来、今まで挨拶をしていなかった職員に市長が声かけをするようにしており、そうした職員もいち早く挨拶をするようになってきています。そうして意識を変えていきたいと思っています。</p> <p>○公務員のありようということでのご指摘をいただきました。雑誌の内容をみていないため、すべてを把握している訳ではありませんが、市職員の親の役割は私自身だと思っています。市職員の教育をしっかりしろとのご指摘もありますので、自らが規範を示さなければいけないと思っています。ご指摘をいただい</p>

た件は改善できるように努力をしていきたい
と思います。

5. 地域の課題について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○歩道の設置で、山香食堂から扇町に入ってくる増山建設付近の道路幅が広い。小学生が通学しているが、歩道がないので道路の真ん中を通る。幅が300mくらいある。できれば片方に歩道を設置してもらいたい。</p> <p>○歩道は昔に比べると高くなり、歩道に駐車する車がなくなって良かったと思っているが、最近では高齢社会となり、体の弱い人がまたげない。歩道をつけるときに縁石を高くするときには考えてほしい。</p> <p>○共同墓地が来年できるが、現段階で料金などがわかれば教えてほしい。</p>	<p>○何度か要望をいただいておりますが、扇山本通線の延長が長い部分については、緑町などで歩道を整備してきました。まちのなかには、通学路であっても歩道の設置がない箇所が何本か残っていますので、順次整備をしている状況です。要望をいただいた箇所の歩道設置がいつになるのかは答えられませんが、通学路に歩道を設置することで学童の安全が保たれることは十分に承知しておりますので、計画的にやっていきたいと思っております。道路の真ん中を歩くことについては、教育委員会や学校、交通指導員にも協力をいただいて指導を強化していきたいと思っております。</p> <p>○まちのなかの縁石は、昔に比べると5cmほど低くなっています。国の補助事業の関係で国の基準を無視することはできません。5条通は縁石が平らで歩きやすいですが、これは防衛庁の補助事業で整備したものです。当時、警察の公安協議のなかでは、歩道が低いと車が突っ込んできたときに意味がないと指摘を受けて、花壇や柵などを設置して車が侵入ないようにしました。高齢化社会で人にやさしい道路ということで、国の基準も少しずつ変わってくると思われませんが、今後も国の基準に準じ、安全に配慮した道路づくりをしていきたいと思っております。</p> <p>○合同墓は現在工事中で12月には完成する予定です。現在、合同墓の使用料や使用できる人について定める墓地使用条例をつくっているところです。11月1日から公表し、市民のみなさんからの意見を募集し、12月の議会に条例を提案する準備をすすめています。具体的には、市内に住所がある方、または住所があった方や、亡くなった方が市内に居住していたり、本籍があったりした場合に使用できるように考えています。使用期間は5月から11月を考えています。来年の5月から使える</p>

<p>○高齢者の車離れをどうするか。現在 86 歳になり車に乗らない年齢になったが、タクシー代ばかりがかかる。そこで今年の春からは電動自転車を購入したが、車道を通行しなければならない。国道はトラックであおられて危険。車の少ない道路を探してみたところ、一般の市道はいいが仲通りがひどく穴にはまる。これからどんどん高齢者が車から自転車になるので、気にしてほしい。</p>	<p>ように事業をすすめています。</p> <p>○仲通りは路盤や舗装が薄いため穴が空いている状況があります。できるだけパトロールで発見したり、通報があったときには、すぐに補修していますが、簡易舗装は 40 年近く経過していて、使い物にならないくらい傷んでいます。補修は計画的に行っていますが、全部の路線はできていない状況です。穴があれば都市施設課にご一報いただければ、職員が現場を確認して補修の対応をしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。</p>
---	---

【市長 閉会のあいさつ】

長時間にわたり貴重なご意見をいただきましたことをお礼申し上げます。庁舎の関係、あるいはJRの関係での意見は、この後の様々な機会を設けて反映し、検討させていただきます。また、市職員のありようという意見もいただきましたが、すべての職員がそうではないと思っておりますが、指摘をいただいたことで職員ひとりひとりが、そうでない人も含めて刺激を受けて改善をしていくこととなりますので、気づいたことは遠慮なく言ってほしいと思っております。今回の指摘を受け、職員体制も良くしていきたいと思っております。

地域の方々と大勢で懇談をさせていただくのは今日の懇談会ですが、これで終わりではなく、市長室トークのほか、外にでてみなさんと意見交換をする機会をもちたいと思っておりますので、ぜひ申し込みをしていただきたいと思います。そうした機会のなかで、行政がひとつひとつ良くなり、住みやすく安全なまちにつながっていきますので、よろしく申し上げます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤが悪いので片道だけ乗りたいが料金が高い。片道の回数券を設定してほしい。4,350 円往復なので、2,200 円×5 枚つづりで良いので要請してほしい。JRとしても前金で回収できるので、都度買う往復切符よりも回収効果が良いと思う。 ・物流と観光にいかに関与しているか。住民の方がよく理解されていると思った。市民生活の収入の経済循環がどうなっているのか、数字で示す必要がある。
40-49 歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・築 50 年で庁舎建替するということは、建替後の新庁舎は何年使うつもりか。少なくとも 100 年くらい建替えないようなものを考えてほしい。借金が永遠に少なくなるのではないかと。無駄を減らす努力をしてほしい。 ・新庁舎に求められる機能が多すぎる。多くを素人が求めると必ず失敗する。必要最小限の機能でコンパクトに計画するべき。 ・稼働率 25% で平均利用人数が少ないのに 600 人規模は疑問。全く現実的ではない。演劇工房の施設を有効利用するくらいの発想がほしい。 ・新庁舎の建設費用はもっと減らすべき。人口減少のリスクヘッジをとってほしい。 ・新庁舎を建てるにしても「稼げる庁舎」などのアイデアをだしてほしい。新庁舎は「子どもたちへの財産」ではなく、「負の財産」であることを念頭にお

		<p>いて進めるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JRはもっと貨物の重要性を訴えないと一般の方にはわからないのではないかと。市の経済がゆらぐ切実さをみなさんは理解できないと思う。
60-69 歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協会病院の内科医の充実をしてほしい
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎には屋上にヘリポートをつくってほしい ・ 金山ダムで事故が発生したときに高い位置に逃げる場所の確保してほしい ・ ブラックアウト時には十分な容量の発電設備と燃料の備蓄をしてほしい
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、新庁舎建設が具体化する進行に合わせた話が聞きたい ・ ミニ懇談会は非常に結構、大いに開催したい
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住居表示板が古くなり見えなくなっている。取り替えをしてほしい。